

ノア、たくさんの思い出をありがとう

豊川小・5 宮道 阿音

黒のラブブレード・レトリバーの女の子
名前はノア

わたしが生まれる前から家にいて

わたしが生まれたときにはもう大きくて

小さいころのわたしは

自分より大きいノアのことを

少しこわかった

でもノアは

小さいわたしにやさしくしてくれた

いつしかわたしもノアより大きくなって

ノアはわたしの遊び相手になってくれる

お姉ちゃんになった

でもおてんばなノアは

よく男の子に間ちがえられた

ノアの散歩にわたしは自転車を着いていき

キャッチボールでは落ちたボールを

ノアに横取りされて

返してもらうまでおにごっこ

川や海に行って一緒に泳ぎ

広場ではかけっこ競争もした

ウシのキューキュー鳴るおもちゃが

一番のお気に入り

わたしが投げると走って取りに行き

わたしのところまで持って来てくれた

でも半分は

とちゅうで持ってくるのをやめたり

なかなか返してくれないこともあった

わたしはそんな

気まぐれでおてんばなノアのことを

かわいくておもしろくて大好きだった

ノアはだれよりもくいしんぼうで

食べ物を見ただけでよだれが出てしまう

いつも手のおいをかいで

「ねえねえ、何か持っていない？」

と言ってくるノアもかわいかった

そんな

おてんばでくいしんぼうなノアだけど

頭の良い一面もあった

ご飯のとき

お手やおかわり

おすわりやふせ

まわれやバック

ハウスやタッチ

言葉を聞き分けて行動する

「よしっ！」

の合図が出るまでご飯を待ち、わたしが

「よしこさん」

とわざと言っても間違えずに待っていた

そんなノアもあつと言う間に年を取り

口の周りに白髪が増え

あと何年ノアと一緒にいられるんだろう

と考えるとさびしくなった

でもノアは元気いっぱいだったので

まだまだ一緒にいられると思っていた

そんな時

別れはとつぜんにやってきた

病気が見つかり手術をしたけれど

そのまま命をひきとった

病院から電話があつて急いでかけつけた

まだ少し息があつたけど

声をかけてもノアは

起き上がらなかった

元気に帰ってきてくれると思っていた

わたしはその光景が信じられなくて

なみだがどどんあふれて止まらなかった

病院の先生から

「最後のお別れをしてください」

と言われて

たくさんノアに伝えたいことがあったけど

「今までありがとう」

と伝えた

病院から家にノアと一緒に帰ってきて

ノアの顔を見ているとねているようで

すぐに目を覚ますのではないかと

ノアが死んでしまったことに

実感がわかなかった

次の日にノアのおそう式に行き

ほねだけになったノアを連れて帰った

まだ家にノアがいるようで

音がするとハッとノアがいた場所を見た

でもノアはもういなくて

それを実感するたびに

さみしくてなみだが出そうになった

もつともつとたくさん

遊んであげれば良かった

もつともつとたくさん

川や海にも連れて行ってあげれば良かった
少し後悔をした

でもそれ以上にノアからもらった

たくさん楽しかった思い出がいっぱいで

わたしの毎日をより楽しい日にくれて

ノアには

「たくさん思い出をありがとう」

と感謝の気持ちでいっぱいだ

ノアに出会えて

家族になれて本当に良かった

ノアも同じように

思っていてくれたらいいなと思う

家の庭に

ノアのおこつをうめ

ピンクのかわいいハナミズキの木をうえた

今年の春

キレイなピンク色の花がさいた

ノアが会いに来てくれたようで嬉しかった

毎年ノアのように

元気にピンク色の花をさかせてほしい